

- ▶ ふじみ野市では、近年緑地の面積が減少している。この大井弁天の森は、市内においてまとまった緑が残っている区域であり、この豊かな自然を守っていくために、全ての土地を公有地化し、日常的な維持管理を継続して実施していく。
- ▶ 令和4年度においては、日常的な維持管理としての剪定の他に、大井弁天の森の樹木群が周囲の樹木と調和を保ちながら健全に育つように、樹木が密接して生えている箇所の間伐を行った。

□ 事業内容

大井弁天の森の剪定・間伐と用地取得

【事業費】56,364千円（うち譲与税12,174千円）
（譲与税は、剪定・間伐と用地取得の一部に係る部分に充当）

【実績】

大井弁天の森間伐業務委託 7,305千円
大井弁天の森用地取得 49,059千円

□ 取組の背景

- ・近年、土地の宅地化が進み緑が減少してきている。
- ・樹木が乱立しており、森の中がうっそうとしている。



（樹木間伐状況）



（用地取得位置図）

□ 工夫・留意した点

- ・樹木がなるべく重ならないようにバランスを考慮した。
- ・日常的に散歩等の利用者が多いことから、事前周知を徹底的行った。
- ・伐採する樹木について、市民の意見を取り入れた。

□ 取組の効果

- ・用地取得をすることで土地の乱開発を防ぐことができた。
- ・森の中に光が差すようになり、うっそうとしていた状況が解消された。
- ・樹木の配置バランスが良くなったことで、樹木の健全な育成が可能となった。

◇ 基礎データ

①令和4年度譲与額：12,174千円		②私有林人工林面積（※1）：1ha
③林野率（※1）： 2.2%	④人口（※2）： 113,597人	⑤林業就業者数（※2）： 2人

※1：「2020農林業センサス」より、※2：「R2国勢調査」より